

韓國經濟復興計劃，對韓經濟協定，研究會委員委囑案

55. 6. 23

極 秘

秘密指定解除

公文書監理室

アジア局長

審 議 官

北東アジア課長

韓国經濟復興計画・対韓經濟
協力研究会委員委嘱案

昭和35年6月23日

北東アジア課

(順序不同)

穂積真六郎 (元朝鮮總督府殖産局長
元朝鮮商工會議所會長
現友邦協合理事長)

板垣与一 (一橋大學經濟学部教授)

神 義之介 (新日本石油専務、經濟同友
會幹事)

君島 一郎 (元朝鮮銀行副總裁、現日韓
親和會理事)

58.23 省 局

久保田豊 (日本工學社社長)

森永貞一郎 (中小企業金融公庫總裁)

織田定信 (輸出入銀行理事)

青島 (" 調査局長)

大東佐武郎 (經濟企画庁総合計画局長)

鈴木武雄 (元京成大學教授、現東京大學
經濟學部教授)

東畑精一 (アミア經濟研究所所長)
(" 所長)

脇村義太郎 (東京大學經濟學部教授)

吉野俊彦 (日本銀行調查局長)

加藤 (昭田) 氏

音

塩田正洪

元 朝鮮總督府農林局長

同任書室長・鋸工局長

朝鮮關係殘務整理事務所長

現 關東製煉工業株式會社社長

玉置正治

元 朝鮮電業副社長

現 日本工業株式會社副社長

常塚秀次

元 朝鮮火藥平壤支店長

北朝鮮工業技術^協盟日本人部長

現 小野田セメント調查部囑託

中谷忠治

元 朝鮮總督府在書室調查官

現 農林大臣官房副考査官

農林技官

仲 孝 X 三井物産 業務部長代理

中川 忍一 / 三菱商事 業務部次長

保科 一明 X 佐友商事 肥料貿易課長

✓ 北川 倫之助 榮輝商事 取締役社長

✓ 岩本 恒人 / 三笠貿易 取締役社長



昭和三十一年七月一日

外務省
伊藤 アジア局長

拝啓 御承知のとおり韓国におきましては、先般の政変以来、取柄が大幅に変化し、今や日韓兩國の友好関係の改善のための気運が熟しつつあるように思われますが、日韓間の国交が正常化され、友好関係が樹立された時には、兩國間の経済協力が推進されるべきことは、凡ゆる観点よりみて極めて当然であると思われます。

つきましては、この際韓国に経済事情及び一般の経済協力問題について御造詣の深い皆様にお集りいただき、日韓経済協力に関する基本的な諸問題につき衆公式に御意見を拝聴いたし

たぐ、下記のとおり御案内申し上げます。

記

日時 7月6日(水)午後0時30分より

場所 数友会館(附録の地図を御参照下さい)

昼食を用意いたしております。

お招きしてある方々は別紙名簿のとおりです。なお、お手数をながらお出欠を外務省アジア局北東アジア課(電話581-2914)までお知らせ下さるようお願いいたします。

敬 具

別紙添付

日韓經濟協力懇談會出席者名簿

- | | |
|-------|--|
| 鈴木 武雄 | 東京大學經濟學部教授
元京城大學教授 |
| 堀田 正洪 | 關東興業工業株式會社社長
元朝鮮總督府農林局長
同全國農長、農工局長
朝鮮關係經濟整理事務所長 |
| 玉置 正治 | 日本工業株式會社副社長
元朝鮮電業副社長 |
| 菅原 秀次 | 小野田セメント調査部副託
元朝鮮火藥平壤支店長
北朝鮮工業技術總連盟日本人部長 |
| 仲 孝 | 三井物產業務部長代理 |
| 中川 忍一 | 三菱商事業務部次長 |
| 保科 一男 | 住友商事肥料貿易部長 |

(順不同、略敬稱)


日韓經濟協力懇談会出席者名簿

- | | |
|--------|--|
| 鈴木 武雄 | 東京大学経済学部教授
元京城大学教授 |
| 織田 正洪 | 関東築炉工業株式会社社長
元朝鮮總督府農林局長
同企画室長、鉱工局長
朝鮮関係業務整理事務所長 |
| 玉置 正治 | 日本工管株式会社副社長
元朝鮮電業副社長 |
| 常 塚 秀次 | 小野田セメント調査部副託
元朝鮮火薬平壤支店長
北朝鮮工業技術総連盟日本人部長 |
| 仲 孝 | 三井物産業務部長代理 |
| 中 川 忍一 | 三菱商事業務部次長 |
| 保 科 一朗 | 住友商事肥料貿易課長 |
| 前 川 五郎 | 丸紅飯田株式会社特買第一課長 |

(順不同、略敬称)

タイプ指示	発信用	計
主 信	7	8
付 属	地田名簿	物理部加付の付加

発送日	昭和35年7月2日
発信	タイプ 校 査

文書課長 

(分類)

公債 番号	半公債	公債 日付	昭和35年7月2日
大臣	主管 アジア局長 7	起案	昭和35年6月29日
政務次官	審議官 7		
事務次官	主任 北東アジア課長 7	送案者	地部 電話番号 407
官房長			
(協 議)			
(回 覧)			
受信者	別紙記載の7名	発信者	アジア局長
写送付先		希望到着期日	7月2日 この欄は至急信のみに使用のこと
件 名 (日韓経済協力懇談会第1回会合開催通知)			
押 釐			

公債案(甲)

外務省

回覧番号

1438

1 265

~~政府は過去半年間に亘り日韓両国間の~~
~~日交正常化のために努力し~~ ~~手~~ ~~つ~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~た~~ ~~が~~、
~~遺憾ながら~~ ~~今日まで~~ ~~成果を~~ ~~挙~~ ~~げ~~ ~~る~~ ~~に~~ ~~至~~ ~~り~~ ~~ま~~ ~~し~~ ~~た~~。
~~あり~~ ~~ま~~ ~~し~~ ~~た~~。 ~~しか~~ ~~し~~ ~~研~~ ~~究~~ ~~に~~ ~~お~~ ~~き~~ ~~き~~ ~~を~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~は~~、
 先般の政変以来、政
 情が大幅に変化し、~~今日~~ ~~日~~ ~~韓~~ ~~両~~ ~~国~~ ~~間~~ ~~の~~ ~~日~~ ~~交~~ ~~正~~ ~~常~~ ~~化~~ ~~の~~ ~~た~~ ~~め~~ ~~の~~ ~~気~~ ~~運~~ ~~が~~ ~~熟~~ ~~し~~ ~~つ~~ ~~つ~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~よ~~ ~~う~~ ~~に~~ ~~思~~ ~~わ~~ ~~れ~~ ~~ま~~ ~~す~~。
 日韓間の日交が正常化され、友好関係
 が樹立されたに際しては、両国間の経済協力が
 促進されるべきことは、凡ゆる觀察よりみ
 て極めて当然であると思われます。つき

ましては、この際韓国の経済事情及び経済
 協力一般の問題について御蒞詣の深い
 皆様にお集りいただき、日韓経済協
 力に関する基本的な諸問題につ~~き~~て非
 公式に御意見を拝聴いたしたく、下記の
 とおり御案内申し上げます。

記

日時 9月6日(水) 午後0時30分より
 場所 霞丘会館(同封の地図を御参照下さい)
 昼食をご用意いたします。

お招きして下さる方々は別紙名簿のとおりです。
 なお、個人敬称から御出席を、外務省アジア局北東アジア課(電話581-2914)
 までお知らせ下さるようお願いいたします。

敬具

本信あて先

鈴木武雄

文京区本富士町1 東京大学経済学部

塩田正次

港区芝田村町1-7
関東築炉工業株式会社

王 正治

千代田区内幸町2-18
日本工管株式会社

学塚秀次

千代田区丸の内第一鉄鋼ビル
小町田セメント株式会社 調査部

仲 孝

三井物産 港区芝田村町1-2
~~三菱商事~~ 株式会社 茶室部

中川 忍一

千代田区丸の内三菱商事ビル
三菱商事 株式会社 東京部

保科 一明

千代田区丸の内新経友ビル
住友商事 株式会社 肥料貿易課

留

元 朝鮮火薬平壤支店長

北朝鮮工業技術総連盟日本人
部長

仲 孝

三井物産 業務部長代理

中川 忍一

三菱商事 業務部次長

保科 一明

住友商事 肥料貿易課長

日韓經濟協力懇談會出席者名簿

鈴木武雄

東京大学経済学部教授
元京城大学教授

塩田正洪

関東築炉工業株式会社社長
元 朝鮮総督府農林局長
同企画室長 鉱工局長
朝鮮関係業務整理事務所長

玉置正治

日本工業株式会社副社長
元 朝鮮電業副社長

常塚嘉次

小野田セメント調査部嘱託
元 朝鮮火薬平壤支店長
北朝鮮工業技術総連盟日本人
部長

仲 彦

三井物産業務部長代理

中川 忍一

三菱商事業務部次長

保科 一明

住友商事肥料貿易課長

秘

13. 2907

#1601

北東アジア課
[Signature]

まで

日韓経済協力懇談会第1回会合記録

35. 7. 6
北東アジア課

1. 日時 昭和35年7月6日 午後0時30分 - 2時30分

2. 場所 霞友会館

3. 出席者

- 民間 鈴木武雄 東京大学経済学部教授
- 塩田正洪 関東築炉工業株式会社社長
- 玉置正治 日本工機株式会社副社長
- 常坂秀次 小野田セメント調査部 嘱託
- 仲 壽 三井物産 貴務部長代理
- 中川忍一 三菱商事 貴務部次長
- 保科一明 住友商事 肥料貿易課長

外務省 伊関アジア局長

- 三宅審議官
- 藤智運 企画アジア課長
- 前田 北東アジア課長
- 柳谷 事務官
- 森田 事務官
- 池部 事務官

4. 議事概要

(1) 冒頭 伊閣局長より、本懇談の趣旨を説明し、^{本日は先ず}出席者、

^{今後の}会議の進め方、^{に要}資料等について忌憚のない御意見を伺い

たいと述べ、更に 北時帰還問題との関連も含め、日韓関

係の現状及び見通しを説明した。

(2) 以下主な発言の要旨次のとおり。

(鈴木) 外務省にはどのような資料があるか？

(伊閣) 貧弱なものしかないと思うので、皆様の御教示をえて補える

ようにしたい。先ず韓国経済の現状を把握すること、

すなわち、韓国経済には基本的にどのような問題があるか

を検討することが必要だと思う。

(三宅) 本来南北合せて1経済単位となる朝鮮が、分割している

事態より生ずる問題、すなわち、南半分だけで経済的に

自立することが可能であるか、~~外門に~~外門に~~依存を~~

どうすれば

減らすことができるか、従来より米門が莫大な援助を注ぎ込

んでいりにも拘らず、何故北鮮のように効果が響つていないのか、

日韓間の貿易のア・バランスを是正するため、韓門から日本

に何を輸出することが可能であるか（海産物や米だけを限

度がある）等の問題がある。

(鈴木) 本来日韓貿易は多角的でなければならず、日韓=1門1門

のみでバランスをとることは無理である。

(伊藤) これは東南アジア全般について言えることである。そこで

「開発輸入」というようなアイデアが出てくるわけであるが、韓

門の場合にも、このようなアイデアが当てはまるのだろうか。

(保科) 我々商社関係者の知識は、いわば「点」になつてゐる、例え

ば、韓口のICA資金の約半は肥料の購入に充てられて

あり、日本の肥料界にとつても、輸出の ~~40~~²⁵⁻⁴⁰ % は韓口向

りとなつてゐて、相当重要な市場であるが、そのポレミアムは今

幾何してゐるとか、そういうことはよく知つてゐるが、このような点

の知識も、^{「アリア」}局長のいわれる、いわば「線」の研究に対して

どういふふうに役立たせて行くか、考^{「アリア」}へたい。

(伊関) 基本的な問題を考へる場合でも、現実より遊離してしまう

ことは危険であり、その意味で、実際的な面も重要である。

(保科) 例へば、アイク訪韓の際、韓口側は 2億1430ドル

程度の援助を向う3年継続することを要請してゐるが、米

の援助の見送^{を立てることは大切だと思ふ。}り、~~米は、赤十字の力で、韓口の貿易を、一掃に~~

~~あまり行く必要がない。~~

(伊関) 米口の援助はまあ続けるべきと思われる。米口の対韓援助

の実績が響つていないのか米口内で批判されているが。

(塩田) 朝鮮は南北合せても1人前では無い。大体南は農業、

北は工業中心であるが、^{農業は戦後15年間に大して進歩していると思われる}

南は農業人口が全人口の約

80%を占めていることから考えて、日本の対韓経済協力は

農業人口を中心として、肥料、^機農具の輸出を計るという

ことになると思う。米口の援助がうまく行かぬのは、中間

にいる役人が悪いので、農民自体は淳朴であると思う。技

術的援助も、農業中心と~~して~~貿易の問題~~を~~これと遊離し

ては考えられる。

(伊関) 米韓で作っている^米韓合同経済委員会~~の~~計画等を入力

しつとどうか。

(鈴木) 矢野、アメリカ側の資料を外務省で調査してまとめてもら

ったかどうか。例えばコンロン報告等の韓国に関する部分

を抜粋してもらったかどうか。

アインシュタインの環

(前田) 韓国から米国へ提出した「韓国経済の現状」、コンロン

報告、ネーザン・リポート等手に入るものを集めて、その検討を

しよう。

(中川) 商社では、生きた韓国経済の実情は把握していると思う

ので、それを役に立てることで協力したい。例えば、最近三菱

化学の買付のミツロンが行くことにはなっており、また米の買

付のミツロンが行く話もあるので、実際に行った人の話を

聞いた上、また資料の蒐集等に依頼ができる。

朝鮮の資源は北に片寄っているので、韓国が輸出できるのは

農産物と鉱産物少量であるが、その市場は日本以外に

はない。従って日本の購買力を除外して韓国の経済的自立

は考えられない。これをよく米口にも理解させ、米側でポジション

を立てる場合には日本も参加できるようにすべきである。今迄

の援助が成功しているのは米口にも責任がある。技術指導

にして、日本から adviser, 技術, management を入れて

経済を建て直す必要がある。また、農業、水産業については

駄目だ、やはり アメリカーナ 的なものから、工業を起して行くべきである。
(備忘録: 韓租界: 難貸等)

これには、日本から技術を入れ、また援助の無駄使いを改め

て行かなくてはならない。

(玉置) 工業を起すには電力が必要であるが、水力資源は北

に備っているので、火力は依存するところにある。従って大量に電

気を必要とするものは不向きである。しかし小規模の開発

は可能である。そうすれば、フランス等と協力するこてである。

(保科) 歴史的見地から見て韓国の米に對する援助申入れの態度

は丁寧になつて来たように見える。韓国国内で論は、日本は

韓国に對して高姿勢過ぎるといふ非難が多く、^{失す} こういう真

相を是正して行くべきである。^{これは無理だ}

(伊國) 日本国内では政府は脆弱だといふやうである。日本人全体

は韓国に對する反感があり、これがよくなつてこないで難い。^{韓の}

(中) ^{日本の} 財界より韓国財界に對し、政経問題を經濟問題に波及

せしめることよく、正しい意見^を フリウ^の エイル^の ^{せよ} ^{よう} 10年経たず

に考察する。

(伊角) USOM で韓国の技術者 200名 を日本で訓練するとい

プログラムを立てているらしい。

(仲) やはり軽工業から起して行っている。そのためには例え

DLF fund 等^き 韓国に因する限り、日本も米口と同じように

使わせなければならない。

(伊角) もちろん一文も出さずに、使わせるといのは難しい。やはり

もう少し少しは出さなければ……。また北鮮貿易との関係等

は、日本がもう少し何か韓国の為にしてやってくれれば、韓

北鮮貿易

国に対して大目に見ようと言っているのだが。

(保科) 方法論としては、例えは Olin Mathson が台湾でやって

いるように、肥料売上代金の 20% は現地に投下するとい

うような方法を考へておいてほしい。

(三宅) 軽工業品を自給自足の天に輸出の外貨を獲得することに

が重要であるが、そのためには、日本または東南アジアに対する

製品の acceptability を作るべきである。

(中) 大体韓国で作るものはアメリカに出していいようである。

5. 次回会合は ^{10/}8月3日(水)を予定した。また局長より外部

に対しては、本懇談会のことをご説明するよう希望した。

(存子バ)



昭和二十六年七月二十二日

外務省
経済 アジア局長

知照

先般貴ノ国分書を受領いたしました日韓経済協力に
關する懇談會の決めの資料として取りぬえず下
記のものをお送りいたしましたのでお返付申上げます
から、お返付お目下はらば郵送に存じます。

なお、貴國の組合等につきましては、日韓経済
月決定次第につて別途通知申上げます。

記

1. Outline of the Foreign Economy

2. コンロン報告（新聞に關する部分）

敬 具

外務省 経済局長

主管課 発送

示 信	発信用 8	執務用 1	計 9
甲	20子部 1部への添付		
乙	928		
属			

発送日 昭和35年7月22日

発信 経 タイプ 検査

文書課長



(分類)

公信 番号	半公信	公信 日付	昭和35年7月22日
大臣	主管	起案	昭和35年7月21日
政務次官	アジア局長		
事務次官	審議官		
官房長	主任 北東アジア課長	起案者	池部 電話番号 406
(協議)			
(回覧)			
受信者		発信者	
別紙記載の各名		アジア局長	
寄送付先		希望到着期日	
		月 日	
この欄は至急信のみに使用のこと			
件名			
(日韓経済協力懇談会資料送付に関する件)			
年 月 日			

公文書(甲)

22 123 外務省

回覧番号

先般、~~是~~ ~~日~~ ~~韓~~ ~~経~~ ~~済~~ ~~協~~ ~~力~~ ~~懇~~ ~~談~~

(第1回会合を催した)

(に因り)

會の~~井~~ ~~名~~ ~~回~~ ~~合~~ ~~會~~の資料を下記の~~と~~ ~~り~~ ~~に~~ ~~送~~

ため

(と)

(に送付する)

付申上げました。御検討のほど下さらば幸甚。

(取次)

存じます。

なお、~~井~~ ~~名~~ ~~回~~ ~~合~~ ~~會~~に つきましては、日時等細

目決定次第送って御通知申し上げます。

記

1. Outline of the Korean Economy

2. コンロン報告 (附記に同資料部有)

散 貝

本 信 表 へ 先

鈴木武雄	群馬県吾妻郡北軽井沢大字村6の10
塩田正浩	港区芝田村町1の7 南東策炉工業株式会社
玉置正治	千代田区内幸町2の18 日本工管株式会社
常塚香次	千代田区丸の内一金融街ビル 小野田セメント株式会社調査部
仲 孝	港区芝田村町1の2 三井物産株式会社業務部
中川忍一	千代田区丸の内三菱商事ビル 三菱商事株式会社業務部
保科一明	千代田区丸の内新住友ビル 住友商事株式会社肥料貿易課
前川五郎	千代田区大手町ビル 丸紅飯田株式会社特貿 科一課長

付属物添付 封 省



昭和35年7月26日

外務省
伊藤 アジア局長

拝啓

前回に引続き、日韓経済協力に関する懇談会の第2回会合を下記のとおり開催いたしますから、万障お繰合せの上御出席下さるようお願いいたします。

なお、今回より、丸紅飯田株式会社特賣第一課長前川五郎氏にも御参加願うことになりました。

記

日時 8月3日(水)午後0時30分より

場所 國友会館

昼食を用意いたしております。

なお、御手紙ながら御出欠を外務省アジア局

北東アジア線（龍巖とオノーニタノル）までお
知らせ下さるようお願いいたします。

敬 具

別紙添付

陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	8	1	9
付 属	地田 名簿		

発送日 昭和35年7月27日

発信 標 タイプ 検査 ✓

文書課長



(分類)

公 信 番 号	半公信	公 信 日 付	昭和 35 年 7 月 26 日
大 臣	主 管	起 案	昭和 35 年 7 月 25 日
政 務 次 官			
事 務 次 官			
官 房 長		主 任	北 京 ア ジ ア 課
(協 議)			
(回 覧)			
受 信 者	別 紙 記 載 の 号 名	発 信 者	伊 関 下 田 局 長
写 送 付 先	希望到着期日		月 日
この欄は至急信のみに使用のこと			
件 名			
(日 韓 経 済 協 力 懇 談 会 第 2 回 会 合 開 催 通 知)			
年 略		26 102	

公 信 案 (甲)

外 務 省

回 覧 番 号

1705

前回は引き続き、日韓経済協力に関する
 懇談会の第2回会合を下記のとおり開催
 いたしました。万障御^縁繰合せの上御出席
 下さるようお願いいたします。

なお、今回より、丸紅飯田株式会社 特別一
 課長 前川五郎氏に御参加願うことになり
 ました。

記

日時 8月3日(水) 午後0時30分より

場所 霞友会館

昼食を用意致しております。

なお、御年敬返から御出欠を外務省に

局北東アニア線 (電話 581-2914) まで

お知らせ下さるようお願い申し上げます。

敬具

別紙添付

鈴木武雄

群馬県吾妻郡北軽井沢大字村6010

塩田正洪

港三芝田村町107

関東築炉工業株式会社

玉置正治

千代田区内幸町2014

日本工管株式会社

常塚秀次

千代田区丸の内一鉄鋼ビル

小野田セメント株式会社調査部

仲 孝

港三芝田村町102

三井物産株式会社業務部

中川忍一

千代田区丸の内三菱商事ビル

三菱商事株式会社業務部

保科一明

千代田区丸の内新住友ビル

住友商事株式会社肥料貿易課

前川五郎

千代田区大手町ビル

丸紅餃田株式会社特買一課



昭和35年8月4日

外務省
伊 関 アジア局長

拜啓

日韓経済協力に関する懇談会の第2回会合において配付いたしました下記資料を別添のとおりお送り申し上げますから、御検討おき下されば幸甚に存じます。なお下記は在日米国大使館より非公式に入手したものでありますが外部に対しては入手ソースをお洩らしにならないようお願いいたします。

第3回会合は一応9月8日に開催を予定いたしておりますが、日時等細目決定次第追つて御

外務省

案内申し上げます。

記

1. The Korean Economy

在日米國大使館より入手

2. I O A 援助受入状況

外務省アジア局北東アジア課作成

敬 具

別紙添付

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	2	1	3
付	「のま」1部「」の添付	2	2
属			✓

発送日 昭和35年8月8日

発信 様タイプ 校査 新設



文部省 (分類)

公信 番号	牛 信 信	公信 日付	昭和 35年 8月 4日
大臣	/	主管	起案 昭和 35年 8月 3日
政務次官			
事務次官			
官房長		主任 北真下課長	起案者 地印 電話番号 406
(協議)			

1. 群馬県吾妻郡北軽井沢大字村6の10

鈴木武雄 殿

2. 千代田区丸の内三菱商事ビル
三菱商事株式会社業務部長

中川忍一 殿

発信者
アジア局長

希望到着期日
月 日
この欄は至急信のみに使用のこと

件名
(日朝経済協力懇談会資料送付の用紙付)

47 号

日韓経済協力の国際懇話会の第3回

会合において配付いたしました資料を
^{下記}

別添の通りお送り申し上げます。御検討

おき下さるは幸甚に存いたします。なお下記1、

(在日米口大使館より非公式に入会したものとありましたが
は冬季(2月)入会予定を外部に對して本誌
は入会予定)

5.1にあらためようを願ういたします。

第3回会合は、一応9月8日に開催を

予定いたしましたことありまうか。日時等細目決定

次第進めて御案内申し上げます。

記

1. The Korean Economy ^{在日米口大使館より}

2. ICA 援助参入状況 <sup>外務省アジア局
北東アジア課作成</sup>

公債案
高裁案 (乙)

外務省

別紙添付 敬具



昭和三十一年九月六日

外務省

伊 國 アジア局長

拝啓

貴省経済協力に関する懇談会の第3回会合は
7月7日に開催を予定いたしておりましたが、
7月6・7の両日外務大臣の韓国訪問に私及び
前田総長が随行することになりました関係上、
延期いたしたいと思ひますので感しからず御了
承下さい。

なお、開催の日時等は確定次第改めて御通知
申上げます。

敬具

タイプ指示	発信用	執. 務用	日
主 信	8	1	9
付			
属			

発送日 昭和35年9月6日

発信 橋本 タイプ 局長 校査

文書課長

(分類)

公信 番号 半公信	公信 日付 昭和 35年9月6日
大臣 政務次官 事務次官 官房長	主管 主任 北東アジア課長
起案 昭和35年9月5日	
起案者 池部 電話番号 406	
(協 議)	
(回 覧) アジア課長	
受信者 別紙の8名	発信者 アジア局長
写送付先	希望到着期日 月 日 この欄は至急信のみに使用のこと
件 名 (日韓経済協力の懇談会第3回会合延期通知)	
6 174	
拜 啓	

公信案(甲)

外務省

回覧番号

日韓経済協力に関する懇談会の開催回合せ

は9月8日に開催を予定してありましたが、

9月6・7の両日外務大臣の韓国訪問に余り

及び前田課長が随行することにより、

~~大臣~~

関係上、延期の事になりました。

要しおし、御了承下さい。なお開催の

日時等は確定次第変更を御通知申上

げます。

敬具

0111

鈴木武雄	文京区本富士町東京大学経済学部
塩田正徳	港区芝田村町1の7 関東築灯工業株式会社
玉置正治	千代田区内幸町2の18 日本工管株式会社
常塚秀次	千代田区丸の内第一鉄鋼ビル 小野田セメント株式会社調査部
仲孝	港区芝田村町1の2 三井物産株式会社業務部
中川忍一	千代田区丸の内三菱商事ビル 三菱商事株式会社業務部
保科一明	千代田区丸の内新住友ビル 住友商事株式会社肥料貿易課
前川五郎	千代田区大手町大手町ビル 丸紅飯田株式会社特買第一課長



昭和三十三年九月五日

外務省
以 例 アジア局長

拝啓

日韓経済協力に関する相談会の第3回会合を下記のとおり開催いたしますから、万障お繰合せの上御出席下さるようお願いいたします。

なお、先般米韓国領より、無煙炭その他の飲食物、のり、その他の水産物、牛、豚、産、米等の対日輸出の増加もしくは新規輸出を希望する旨の申出がありましたので、当日の会合におきましては、当方より右韓国領申出の内容を御説明申上げ、これら品目の輸入の可能性について御高見を伺いたいと考えております。

外務省

配

日時 9月29日(木)午後〇時〇分より

場所 議友会館

昼食を用意いたしております。

なお、お手紙なごら御出欠を外務省北東アジア課(電話551-3914)までお知らせ下さるよりお願いいたします。

敬具

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	8	1	9
付			
属			

発送日	昭和35年9月10日		
発信	タイプ	校査	✓

文符課長

(分類)

公信 番号	半公信	公信 日付	昭和35年9月10日
大 臣	主管	起案	昭和35年9月14日
政務次官			
事務次官			
官房長	主任 北東アジア課長	起案者	三位 番号 電話番号 406
(協 議)			
(回 答) アジア課長			
受信者	別紙の8名		発信者 アジア局長
写送付先	希望到着期日 月 日 この欄は至急信のみに使用のこと		
件 名 (日韓経済協力懇談会第3回合同開催通知)			
拜 啓			

公信案(甲)

15 176

外務省

回覧番号

日露経済協力に関する懇談会、外子回会

~~は9月8日に開催予定でしたが、9月6日の両日外務省
の執務停止により、開催予定の日に開催できず、~~

合を下記のとおり開催いたします。不降

御繰合せの上御出席下さるようお願いいたします。

なお、~~当日は~~ 先般 ~~右~~ 韓口側より、~~村、村~~

輸出の増加もしくは新規輸出を希望するもの

として、^(他の鉱産物) 無煙炭、黒鉛、~~鉄鉱石~~、鉛鉱、滑

~~石、鮮魚、塩干魚~~、^(他の水産物) 鮭、~~鮭~~、牛、塩、米等

の対日輸出の増加もしくは新規輸出を希望す

る旨の申出がありましたので、^{当日の会合におきましては、} 当方より右韓口

~~側~~ 側申出の内容を御説明申上げ、これら

の^{の可能性について} 品目の輸入に~~際して~~ 御高見を伺いた

いと考えております。

記

日時 ~~9月14日(木)~~ 午後0時30分より
~~9月15日(金)~~

場所 唇友会館

昼食をご用意してあります。

なお、御舟着なから御出欠を外務省北東

アジア課(電話 581-2914)までお知らせ下

さるかとお願いいたします。

敬具

本名 氏名

✓ 鈴木 武雄	〒東京都本富士町東京大学経済学部 921-3151
✓ 塩田 正浩	港区芝田村町1-7 南東薬材工業株式会社 591-2574
玉置 正治	〒代田区内幸町 2-18 日本工管株式会社 591-7150
✓ 常塚 香次	〒代田区丸の内第一全鉄鋼ビル 小野田セメント株式会社調査部 201-511, 1411, 231-0431, 1451 571-8601
✓ 仲 孝	港区芝田村町1-2 三井物産株式会社業務部
中川 忍一	〒代田区丸の内三菱商事ビル 三菱商事株式会社業務部
保科 一明	〒代田区丸の内新住友ビル 住友商事株式会社肥料貿易課
前川 五郎	〒代田区大手太町ビル 丸紅飯田株式会社特貿才一課長

アジア局長

参事官

北東アジア課長

「日韓経済協力に関する懇談会」のメンバーとして
塩田氏が 経済協力問題の今後の方針について意見を
表明されたものです。

経済局

次長

アジア課長

印



日韓経済問題と通商関係の設置に付いて

要 旨

塩田正洪

(前総督府鉱工局長)

日韓関係の好転に伴い、各種の経済問題も今後自ら微妙な変化を加えるに至ることは予測に難くない、従つてその事前措置にして宜しきを得なければ新角の好機運を再度悪化に導かないとも限らない。それが為には既設の団体に使われることなく、新しい機運の下に組織ある機関を外務省の監督下に設置することが望ましい。

理 由

一 韓國側の購買力は今日悉く相違低位に在るものと思われし、又その源泉をたす輸出可能物資も日本と適合するものが多い、之はその立地条件と日本統制時代の奨励方針に原因するもので今度も之を改定することは極めて困難である。従つて日本が経済の部面に於いて競争優位化を圖るためにはその根本に於いて政治的裏面を必要とするが、之を暫く控いて経済問題にのみ限定して仮りに輸入のみの面に付いて考へても単純に先方の要求するものを日本の業者が輸入すれば足りるものではない。米にしても、産量にしても各種地下資源にしてもその生産力や品位の保証乃至は決済方法等が問題である。因取創時代に於いても新機運の問題が屢々業者を苦境に陥れ、結局は更方で不信呼わりをするに至つた事例が少くない。事前の準備こそ最も必要であると考へる。

二

此の好機に際して経済界が韓國に対して積極的意態を示すことは既に前提であるが功を急ぐの余り一般民衆の間に存在して居る対日偏見感を誘致して、予期しない経済悪化呼わりをされない慎重さが最も必要である。不用意に各商社が従つて取極の開始に狂奔し、通安の日韓間の歴史的關係に甚く対日感情を度外視して他の後進國に對すると同様の誤念又は困難を以て立ち向い、時に商社打ちの態度を露呈したり、又は先方の業者の実情を把握しないで事を運んで俾を後目に損すようなことがあつては百弊あつて一利がない。

緒 言

官庁を中心とした調査団を派遣して、実情を視察し資料の蒐集に努めることも必要であるが同時に此際有力商社又は生産会社及学識経験者を以て首座顧問を設立することが望ましい。

現在外務省に日韓関係に関連ある外部団体が二、三存在してあるが之等は或は親敵を主とするもの、引揚者の利益を擁護することを当座の目的とするもの又は過去の歴史的資料の蒐集、整理を主眼とするものにして今後の日韓間の経済問題を主として調査研究するものでない。

唯此等の団体には今後の問題処理に役立つ人的、物的資料に乏しくないので、新設顧問の活動に寄与するところは決して少くない。

此の顧問が此際組織のある活動をするならば、今後の両者の永遠且つ正常の経済関係を結ぶに極めて効果があるであらうと確信する。

韓国

日本

1974 (1-2月)

1974年4月1日現在

		千人	(千人)	千人	(千人)
* 総人口 (A)	同上	4,000	(4,000)	100,000	(100,000)
	比上年増加率				
* 世帯人口 (B)	同上	2,500	(2,500)	70,000	(70,000)
	比上年増加率				
(B/A)			62.5%		70%
* 就業者数	第1次産業	1,000	25%	1,000	1%
	第2次産業	1,000	25%	1,000	1%
	第3次産業	1,000	25%	1,000	1%
	計	3,000	75%	3,000	3%
* 失業者数	第1次産業	100	2.5%	100	0.1%
	第2次産業	100	2.5%	100	0.1%
	第3次産業	100	2.5%	100	0.1%
	計	300	7.5%	300	0.3%
国民総生産	第1次産業	100	2.5%	100	0.1%
	第2次産業	100	2.5%	100	0.1%
	第3次産業	100	2.5%	100	0.1%
	計	300	7.5%	300	0.3%
同上	比上年増加率				
	輸出額 (通関)	500	12.5%	500	0.5%
	輸入額 (通関)	500	12.5%	500	0.5%
	外国援助	100	2.5%	100	0.1%
財 政	支出額	140.6	35.15%	140.6	0.14%
	国防費	96.8	24.2%	96.8	0.09%
	経済復興費	63.0	15.75%	63.0	0.06%
	社会厚生費	63.0	15.75%	63.0	0.06%

(国民所得)

(同上村前年増加率)

(注)

1. *印の韓国植は統計資料の都合上、1958年のものを採用している。なお、日本植の就業者数および失業者数は、1958年(1~12月)平均である。
2. 韓国の人口は1958年12月31日現在、日本の人口は1958年10月1日現在のものである。
3. 国民総生産(又は国民所得)の金額は、それぞれ当該年の名目価格により、又、同対前年増加率は実質価格で対比してある。

出所 韓国政府復興部 Economic Survey 1959
韓国銀行調査月報
韓国銀行 Annual Report 1959
経済企画庁資料

秘
封

この後の議事録の
倒置記法はもとより同
様に記す

アジア局長 *宇山*

宇山参事官 *家*

北東アジア課 *山*

対韓経済懇談会第3回合同記録
(協力)

昭35. 9. 29
北東アジア課

1. 日時 9月29日午後6時30分~2時30

分

2. 場所 霞友会館

3. 出席者

- 民間 鈴木 武雄 (東京大学経済学部教授)
- 塩田 正広 (関東建設工業株式会社社長)
- 常塚 秀次 (小野社以外調査部嘱託)
- 中 孝 (三井物産業務部長代理)
- 中川 忍一 (三菱商事業務部長)

保科 一明 (住友商事肥料貿易課長)

前川 五郎 (丸紅穀田株式会社特貿一課長)

外務省 宇山 春事官

越智 課長

前田 課長

浅田 事務官

柳谷 事務官

森田 事務官

池部 事務官

4. 議事概要

(1) 冒頭 経済局アニア課作成の「韓国経

済概観」及び別添~~紙~~。統計に配付し、

越智課長より、日韓貿易の現状及び

韓国が日本^{新規}の買付け又は買付け増大

を希望している点目について大要次の

とおり説明~~した~~。

日韓貿易は、10年前にオープアカウントの制
度になり、それによって行われていたが、数
年前より日本側の貸越しとなっており、現
在約4,500万ドルの貸越債権がある。
韓国側でも貿易のバランスを維持する
ために、対日輸業者はその輸出の範囲
内で対日輸入をすることができるとい
う。いわゆる輸入枠制度と設けている。昨
年6月頃から本年4月頃まで日韓貿易は
断絶状態にあったが、本年4月4日
から貿易会談が開始され、当時はず
政権下であったが、商局長、糧政局長

第1次米日交渉。この交渉の主目的は韓国

米を日本に売ることであったが、~~貿易~~

~~問題~~は、~~周知~~とあり、~~交渉~~

~~買付け~~は、^{これは、}6月に、~~業者が~~契約した。
(妥結した。)

この交渉の際、~~交渉~~際、日本が韓国の産品を買うことか

契機となり、貿易が進展するのてあるか

ら、いろいろな物資を買ってもらったとい

う話があり、その後、^全韓国の政権が変

り、公文書及び口頭を以て韓国産品

の買付けに関する要望を新たにしてく

る。品目としては、海苔、冷凍水産物、

牛豚肉、無煙炭、塩、等である。

(イ) 海苔は現在、年1億枚程度を買っているが、

韓国側はこれを1億5千万枚程度にふやす

ことを希望しており、現在懸案となっている。

。

(ロ) 無煙炭は、韓国側は50万トンの程度の

買付けを希望しているが、^{現在の}わが国の輸

入は10万トン程に及ばず、~~7-8~~ ⁷⁻⁸万トン

程度であり、わが国では無煙炭は、煉

炭、豆炭、用に使用される関係上、需要が

伸びる見込みがあまり無いので、韓国側

の要望にあまりこたえられない。

(ハ) ~~鮮魚は従来輸入されているが、~~

~~冷凍水産物は、従来輸入してこない。~~

(1) 鮮魚の輸入は年85万ドル位であったが

130万ドルに割り当てを増やしたのであるが

(これを150万ドルに増すことを要求し、たゞこれは別に)

韓国側は冷凍魚 ~~を輸入する~~ 150万ドルの

(鮮魚は従来から輸入されているが冷凍魚は輸入されていない)

付けを希望している。しかしこれにつ

てもまだ^{たゞ}肯定的結論に達していない。

(2) 牛豚肉については、最近わが国の相場

は下りきみであるが、戦前朝鮮牛の輸

入されて好評であったこともあり、適当な

物質と思われる。たゞ、韓国は防疫上輸入

禁止地域になつてゐる為め、防疫

上の問題の解決の先行すべきである。

で、現在農林省畜産局においてこの問題

と検討している。なお、この問題に関連

(ア) 韓国農林部畜産局長の来日により具体化し

つつある。

(イ) 塩については、韓国側は10万トンの買

付けを希望しているが、わが方尙社代

表が渡韓しており、その報告を基に検

討するにとららう。

(ロ) 韓国側は黒鉛12万5千トンの輸出を希

望している。

以上は外貨の割当てを要する品目

なので、この面で政府の措置を必要とする。

~~2~~ わが国としては、以上の外鉄、鉛、石炭

金産物も輸入してゐるが、これは自動承認制であり、買付け増加について別段政府の措置を必要としないので韓国側との話し合いの対象とはなつてゐない。

以上の品目については、通産省及び農林省と交渉してゐるが、現在のところ米、小麦の買付け及び魚の買付け増加を決定した以外には結論がでてゐない。海苔などの買付けは日韓関係改善にプラスになるものと信ずるが、日本国内では「李ライ」の問題等何かおぼろしい点が残つてゐるため、話し合いが進まない次第である。

韓国^の貿易^の現状は輸出が輸入の10分の

1にすぎず、極めてアンバランスな状態にあり、

しかも輸出の6割は対日輸出であるから、

日本が去来^にだけ韓国から物を買ってや

ることから韓国経済再建の足がかりとなるも

のと思われ。日本は昨年オランダから

12万ドル韓国から買っている^{こと}

の希望通り買付けを増加^{した}れば、146百

万ドル位になり、更にこれに3万ドルの差を

加えると24万ドル位にはなる。(さして別

添^の統計により韓国経済及び貿易のアン

バランスを説明した。)

(2) 次に各種物資の輸入の可能性について大專

次のとおり意見を交換された。

(宇山) 現状は^今~~是~~趣智課長より説明があつたとあり、

結局日本で輸入できるものは、米、海苔、牛豚肉、

黒鉛、無煙炭、冷凍魚、塩、等である。日本が買

付を増やすためには、韓国側でも日本が買ひ取らな

ものを生産し、価格を下げ、品質をよくするために努力す

る必要があると思う。また以上の品目の他に、日本で

買う品目を増やす可能性はどうであろうか？ 牛豚肉

の輸入等は最も有望と思われるか、その見込はどうであ

るか？ これらの点について御意見を承りたい。

(越智) 牛豚肉の輸入については、朝鮮牛は昔評判か。

良かたのためから防疫の問題さえ解決すれば"有望であ

る"という意見や。朝鮮牛は戦前病気の伝染経路

になつていたので防疫の問題は慎重に取扱われねばならぬ

という意見や、色々~~意見~~ある。

~~(宇山) どういう種類の病気があつたか?~~

~~(堤田) 病気の種類をどうして調べているか?~~

~~(前川) 北朝鮮の畜産がよく判らぬので、北朝鮮の方から検査~~

~~が伝染するのを恐れているともいわれている。~~

(堀田) 戦前は釜山に血清製造所があつて予防措置を

講じていた。大体病源地は鴨緑江、豆満江方面で

あり、牛も北朝鮮が多かつた。しかし統計によると南朝鮮も

牛も急速に増えてゐるようであるが、南朝鮮の牛の生産

地は 大邱を中心とする慶尚北道及び金剛山南方

の高原地方が中心である。病気の状態等は、今度丸

紅から行かれる方が獣医出身の専門家であるので、こ

う方が行かれて実情を調査されることは極めて有効で

あると思う。戦前は検査所が南鮮は釜山にあり、

他は北鮮にあり、これらの検査所で十分検査した

生牛を内地に送っていた。生牛に比して肉をもつて

くる場合は余り問題は無い筈であるが、^{何れにせよ、}朝鮮牛の

声価に影響するから、防疫には十分気を付ける必要があ

る。

(浅田) 韓牛は1万頭(少くとも5千頭)位出した」と

いっている。

(越智) 韓国の輸出総額の中、鉱産物はその半分。

水産物は2割(その8割は日本向け)を占めてい

るから、差し当り、^(水産物これに) 鉱産物、畜産物ということに

なる。

(浅田) タングステンはどうだろうか？

(常塚) タングステン鉱山は国警と取っており、殆ど大

部分アメリカへ輸出されているようだ。

なお、無煙炭の需要については、うち(小野田セメント)

で研究中であるが、セメント製造に^(相当大量に)使える見込みが

立つに至った。技術的なことはよく知っているが、コークス

の代りに使うようである。最近コークスの生産が

減少する見込みなので、無煙炭を使えるから使ってみよう

ではなにかという事で研究中であり、まだ発表

の段階にはないが、最終的には10数万吨から

20万吨位まで使える見込である。現在無煙炭は

煉炭に使われるため、需要は季節的であるが、セメント

に使う必要は恒常的となるので、こういう用途の

研究が有益だと思ふ。なお、韓国には「韓国経済

概観」に出ている。各種の鉱産物もある模様を

みて研究中である。韓国の無煙炭は大部分が

三陟から出て、~~東海~~^{墨湖}から積出されるが、~~東海~~^{墨湖}の積込

設備は戦前のものを凡のまま使っている模様で、もし

見直すとすれば、余力が大きくなる。また韓国では

無煙炭を鉄道用に使っており、先方の供給能力を

十分研究する余地がある。韓口側^{には}は 実際^に 50万ト

も出す能力はなりので「何な」かと思う。埋蔵量はあるし、

掘れば出るわけであるが、輸送力の面で制約される。

(越智) 韓口の無煙炭生産は年約400万トンである。

(岸塚) わが国の煉豆炭の製造に当っては、山口県産

の無煙炭に、韓口産1割、ホングイ炭1割程度を

混ぜてあり、韓口産の価格が下れば混入比率を

増やすことも可能かと思う。現在韓口炭はトン1200

位でホングイ炭より安い。

(越智) 葉タバコの乾燥や左ロニツケルに使う用途もあり、

韓口側業者が、工業部門の用途を考えた時、期待

が持てると思う。

(保科) 23日の(KEP)通信に、先刻のお話のような

通商協定修正案骨子が出ているが、これは実際は

どうなっているのか？

(浅田) 通商協定修正案骨子は、品目を列挙し、昔の

O.A.の額が出ているが、今はこれは動いている。

韓国側輸出 1,600万ドル 日本側輸出 3,200万ドル

を規定しているが、台湾式にやろうという感じで

ある。

(越智) 研究してみる必要がある。しかし、むしろO.A.廢

止が基本方針であるべきなのは、貿易拡大のため

にはO.A.で拘束する必要がある点に矛盾がある。

(宇山) 貿易は経済局でやっているのだから、アジア局としては、

基本的な方針を考へて行きたい。^{私としては}貿易の方は一

般的な対韓關係とは進めてもらつていいと思う。^{別件に}

現在韓国に行つてゐる ICA ミッションが先般

日本に立寄つた際、米国の援助の見通し等について

質問を出してあるが、全般的にはきういふことし

にうみ合せて、日本としても何らかの援助——少くとも

技術援助はしなくてはならないと思う——を考へる必要が

あると思う。例として飼料としての雜穀の輸入等考へ

られるか、どの生産をどういふ風に上げて行つたらいいか

といふことについて御意見を伺ひたい。とり敢えず貿

易については先程越智課長や磯田事務官が言われた

がうぬくをやつて行けば、人的交流も盛になつてくる

であろうし、全体として進むと思う。^{代表部、~~繁~~も大伴}
^(在日韓国) ^(の人々)

そういう考えである。

(岸塚) 技術者が向うに行けば、もつと話が進むと

思う。現状では何か輸入したいと思つても、サマソル

さえ適当な時期に入手できない状況^{である。}

(保科) 最近までは、日本の広告でさう一切掲載することが
^{雑誌や新聞}

できなかった。有様であった。

(宇山) 日本品に対する需要は常にあるので、日本品を

売ることが急かなくてもいい。日本が韓国から買う

物について便宜を計つてもううことを先ずやるべきである。

この点韓国側に対して申入れを検討したどうか。^{ること}

(塩田) タングステン、鉍産物中一番重要と思ふが、もし

^(値段も高くて)

アメリカが援助し、担保のような意味でアメリカへ持つ

て行っているとするは、これを或程度日本にも持つてこれ

るようにすることを考えたかどうか。タンクステンは、上東

(大邱、釜山附近等)

鉱山はじめ 2, 3カ所あるが、それら ~~は、~~ 日本向
(の) 輸出に努めること

に制限を解除してあげれば、金額的にも大きいと思う。
輸出に努めることにすれば

日本が今タンクステンを何処から持つて来ているか知り

らぬが、遠い所から買っているなら、近くの轉口には

転換することが考えられようし、経済的に買えば、

この種計画に大いに寄与するものと思う。黒鉛は

南鮮のもうは土産黒鉛で品質がよくない。

(浅田) タンクステンは 現在米韓間の協定により、全部アメ

リカが買うことになっているのではなからうか?

(前田) 53年頃まで協定があつて、韓口の一般貿易の

半分位がクランクシステムであつた。しかし、米口のクランク

システムのストックが一杯になつて、確か54年頃米口が

協定を打ち切つたと記憶している。勿論協定打ち

後も何等かの手当をして感程度は償つてゐるようだが。

(岸山) この間ICA ミッションと話したときも、米側は、日

米・韓の協力を考える気持になつてゐる事が判つた。

星のとき、こちらから^{もつと}韓口のものを輸入できるよう研

究中であるとも言つてゐるが、米側も非常に興味を

示してゐた。

(保科) 大韓重石の社長と米口のエージェントとの間

スイスで会談した趣であるが――

(宇山) 今更ぐ、日本で買之なくとも、今の米韓間の契

約が何時までで、その後には日本がデングーする可

能性があるかどうかという見通しを立てる必要がある。

とにかく米復利にも日米韓共同委員会の様なものを

作つてやつて行こうという考えもある位であるから、可能

性のあるものを研究して出して来た所まで。

(保科) 米口は対韓援助を相当削減する意向である。

の説もある。 ^{これまで} ~~今までは~~ 2,000万ドル減で ^{1億6千万}

ドル程度になるといふ説が一般的である。 ^{最近} ~~それ~~ ^{それを更} _(つたが)

に1億3千万ドル程度まで減らし、足りないところはDLF

(返済) ^{返済} (15年) 及び余剰農産物の現物を増やすことによ

って補うという考え ^{報料} ~~がある~~ ^{がある}。

(も出ています) 情報も出た。 外務省

(宇山) DLF を増やすとしても、韓国の返済能力が問題

がある。

(保科) 韓国の大企業間にも DLF は受けがよくなり。

先般米大使館が DLF の返済に 1,350 ホリのレト

を適用すると発表したのも不評の一面となっている。DLF

では、アメリカの機械をかりつけられ、系統が面倒なので、それ

よりもむしろ、ドイツの ツルメストラスト 等と ~~提携~~ してやった

提携

方がよいという意見もあり、羅州の肥料工場等もドイツの

ルルギヤ

ジーメンス等 ~~で~~ やっているようである。もっとも日本

としては目の前に肥料工場をどんなに作らせても困る

が

(宇山) 最初はやはり向うから買うことを考へるのが大事で

ある。オーストラリアの場合も最初先うは日本から買

話には全然応いようとしなかったが、先方のものを買っている

中にこちらの輸出も次第に伸びる。 → 輸出入の

割合も最初は 1対12位であつたのが 後には 1対3

位になり、日本の輸出も7倍位増えた。 ^{先ず} 購回の際買う方

に専念して、次第にほぐして行き、その上で売るように話

をもつて行くのが得策かと思う。

(仲) 先方より、物を買う際大きなあい路が2つあると思う。

即ち、(A) 商社員の滞在が ^{原則として} 2週間しか認められぬ、

こと。(B) 日本政府の代表機関がなれることである。

これらは早急に措置を考慮すべきものと考えらる。

(宇山) (B)については ^{設置する} ~~難~~ という原則は決つてゐるので、唯

^{韓日側に対し一般的規則を先ず照会す}
タイミングの問題だけである。(A)については、^{これに} 改善方を ~~精査~~

~~債~~ 申入れることを考たいと思うが、終戦直後オーストラ

リアの対日感情が悪かったときには Wool buyer が中は

直に入口を認められた例もあり、こちらが先方のものを

買う場合には、先方も幣存在を認めざるをえぬであろう。

しかし、そのためにもわが方の買付が増えることが先決

である。

~~夫~~

(中川) 今のままでは先方から買うものが多いのだから、合

弁事業等をやつて、こちらが買えるものを作ることも必要

~~強~~

である。日本の企業が安心して投資できるような

体制を作ってもらいたい。聞くところによると、日韓間

の正式な話し合いができるまでは、日本からの投資融資

を受けはなうぬという布告が出た由であるが、こういうこと

では民間投資はできない。

対韓投資

(岸山) ~~これは~~ 二段階の話になると思う。貿易拡大から

徐々に移っていく必要があると思う。現在の段階では

なかなかとしても対韓投資は難しいのではないかと思う。

(保科) 他にも買って買えないとばかりというものがあると

銅鋼製品

思う。例えば電気銅等。しかし一度入れて信用

をおとしたものもあり、先方が、こういう体制であるという

ことをはつきりとする必要がある。

5. 次回会合は、10月半ば過ぎ頃を予定し、追って

日時を確定次第連絡することにする。